

### 第3回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年11月18日（金） 18:00～20:00

場所：内閣府本府仮設庁舎講堂

出席者：

（有識者） 遠藤啓吾氏、近藤駿介氏、酒井一夫氏、佐々木康人氏、島田義也氏、  
長瀧重信氏（共同主査）、丹羽太貫氏、前川和彦氏（共同主査）

[五十音順]

（政府側） 細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、高山環境大臣政務官、  
佐々木内閣官房副長官補、西本原子力被災者生活支援チーム審議官、  
鷺坂環境省水・大気環境局長、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官

議事：子どもや妊婦に対する配慮

1. 丹羽太貫 京都大学名誉教授より、「低線量リスクとその扱い」、「事故後の経過と状況に応じて重点が移る」、「内部被ばくと外部被ばくのリスクの同等性」、「小児被ばくと胎児被ばくのリスク」及び「サイエンスとバリュー」について説明。

◆上記について質疑応答

2. 島田義也 放射線医学総合研究所発達期被ばく影響研究グループグループリーダーより、「放射線に対する反応」、「放射線の人体への影響」、「白血病と固形がんによる過剰死亡リスク」、「胎児・こどもの健康影響」、「こどもを守るために大人がやらなきゃいけないこと」等について説明。

◆上記について質疑応答

以上